

寄稿

こんなに変わった! 近年の歯科医師国家試験

東京デンタルスクール／歯科医師

岡田 優一郎
Yuichiro OKADA

近年、「年々歯科医師国家試験が難化している」という声を聞く。事実、国家試験の合格率などの変化が、ここ数年顕著となっている。

本稿では、近年の歯科医師国家試験の傾向と、今後の流れについて紹介したい。

近年の歯科医師国家試験の傾向

近年の歯科医師国家試験の傾向として、以下の事項が挙げられる。

◎英語、時事問題の出題

診療に必要な医学英語や、英文の空欄に当たる英語を解答させる問題、近年の生物的事項に関する時事問題、医学史に関する問題などが増加している。

◎栄養学に関する問題

過去に「日本人の栄養所要量」とされてきた

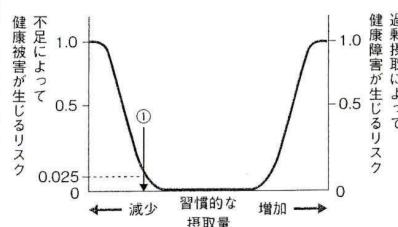
A-120)

日本人の食事摂取基準の概念を図に示す。食事摂取基準(2010年)において①の部分の摂取量が定められている栄養素はどれか。1つ選べ。

- a : 食物繊維
- b : ビタミンD
- c : カルシウム
- d : n-3系脂肪酸
- e : ナトリウム (食塩相当量)

解答: c

図① 第107回歯科医師国家試験に出題された問題



A-71】

注意欠陥多動性障害の児童に対する歯科治療時の対応で適切なのはどれか。すべて選べ。

- a : 具体的に指示する
- b : Bobath体位で行う
- c : 行動調整法を用いる
- d : 説明に幼児語を用いる
- e : スモールステップで行う

解答: a, c, e

図② 第109回歯科医師国家試験に出題された問題

ものが、2004年より厚生労働省によって「日本人の食事摂取基準」として改定され、現在5年に一度改定されている。食事摂取基準は、近年ほぼ毎年図式および増減すべき栄養素について出題がなされている。

例として、第107回歯科医師国家試験を図1に示す。なお、本年度実施された第109回歯科医師国家試験においても、同様の問題が出題されている。

◎医学的知識への拡充

近年では、医学的知識においてもより高い知識を求められるようになっている。

最新版の出題基準である平成26年版歯科医師国家試験基準(第107回歯科医師国家試験より適用)では、「歯科医師として必要な、高齢者や全身疾患を持つ者等への対応」のさ

らなる充実について言及している。さらに、新薬の開発により、求められる薬剤の知識もより多様化かつ深化する傾向にある。

また、医師国家試験を参考にした問題が出てきていることも近年の傾向といえる。

例として、第109回歯科医師国家試験に出題された問題を図2に示す。

◎高齢者、摂食・嚥下、救急災害時の歯科保健対策・法歯学などに関する問題

超高齢社会である日本の現状を鑑み、高齢者に関する出題、摂食・嚥下に関する問題も増加傾向にある。前述の平成26年版歯科医師国家試験基準では、「高齢者の歯科診療」が新たに各論の分野に加えられ、高齢者の顎頚面疾患・機能に関する疾患、高齢者に多い注意すべき全身疾患、摂食・嚥下障害に関する治療が、より出題されるようになった。

また、当出題基準においては、東日本大震災の発生を受けてから、「救急災害時の歯科保健対策・法歯学」に関する出題についても、問題のさらなる充実が求められている。また、障害者歯科に関する出題の拡充も認められる。

このように、出題基準においても、社会的なニーズが強まっている部分に重点をおいたものになりつつある。

例として、第109回歯科医師国家試験に出

C-39】

死後硬直により最初に可動性が抑制される関節はどれか。1つ選べ。

- | | |
|-------|-------|
| a : 頸 | d : 股 |
| b : 肩 | e : 膝 |
| c : 肘 | |

解答: a

図③ 第109回歯科医師国家試験に出題された問題

題された問題を紹介する(図3)。

出題形式の変化

さらに、問題の出題形式にも変化がみられる。

◎新形式問題の導入

かつて存在した番号の組み合せ問題は現在姿を消し、新たな形式の問題が採用されるようになっている。

①スーパーX: 5つの選択肢のうち、正解となる選択肢をすべて選ぶもの(正解は1~5個)▶第103回歯科医師国家試験より採用

②多肢選択肢問題: 6つ以上の選択肢より正解を選ばせるもの▶第105回歯科医師国家試験より採用

③計算問題: 選択肢ではなく、計算した回答をそのままマークシートに書き込むもの▶第105回歯科医師国家試験より採用

◎臨床の術式などを問う問題

近年では、臨床実地試験の位置づけは、「参加型の臨床実習で得た能力をより適切に評価できる問題を出題すべき」とされている。そのため、臨床実地問題においても、かつては診断のみであったものがその治療法を問う、もしくは術中の写真より必要な器具、次に行う事項を問う問題、正しい順序への並び替えへとシフトしつつある。